

平成 30 年度第 1 回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会島ヶ原地域部会
議事概要

■開催日時 平成 30 年 8 月 27 日（月） 午後 7 時～午後 7 時 30 分

■開催場所 島ヶ原会館

■出席者（敬称略）

【委員】

島井 不二雄（島ヶ原地域まちづくり協議会会長）、風隼 宗昭（島ヶ原地域まちづくり協議会副会長）、花本 浅美（大道区長）、木山 功久（中村区長）、山出 良一（町区）、菅山 進（山菅区長）、松永 秀基（中矢区長）、上原 孝浩（不見上区長）、南出 藤作（島ヶ原地域まちづくり協議会産業生活部会部会長）、山菅 善宣（島ヶ原地域まちづくり協議会広報宣伝部会部会長）

【事務局】

交通政策課 課長 福岡 秀明、副参事 吉岡 徹也、
主査 吉福 将徳
島ヶ原支所 支所長 池本 洋人

■傍聴者 0人

■会議概要

1. 開会

島ヶ原支所長挨拶

支所長	本日はお忙しい中お集まりいただき、まことにありがとうございます。上野コミュニティバスしらさぎの運行計画について、担当であります交通政策課から説明を申し上げます
-----	---

2. 協議事項

上野コミュニティバス「しらさぎ」の運行計画について

事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

部委員	しらさぎは、どういう位置付けなのか。
事務局	島ヶ原地域で言いますと、行政バスと同じものになります。本来ですと上野地域部会のことではあるのですが、市の庁舎の移転に伴うものであることと、市民病院への通院に関わってくることで、協議会の会長と協議の上、各地域部会へ説明をさせていただいています。

部委員	伊賀上野駅からのアクセスは考えなかったのか。
事務局	路線が競合すると、中部運輸局の許可を受けにくいということがございます。当市の地域公共交通網形成計画では、JR、伊賀鉄道、近鉄が走る間を、網の目のようにバスで結ぶ計画をしていますが、おっしゃっていただいた区間は伊賀鉄道がございますので、中部運輸局の許可が得にくいということでございます。
部委員	始発の7時40分発は、島ヶ原からの接続は考えているのか。
事務局	島ヶ原発7時15分のバスがあり、上野市駅に7時33分着ですので、7時40分発あるいは7時45分発のしらさぎに間に合い、市民病院の受付開始時刻や、市役所の開庁時刻に合ったご利用をいただけます。 今回提出しました運行計画をお認めいただき、実際運行することになりましたら、どこからどのように乗ったらこの時間に着くといったことがわかるようなものをお示しできればと考えています。

3. その他

【質疑応答】

部委員	神戸地区の地域運行バスが運行開始から1ヶ月ほど経ったが、その経過の中でどのような状況か。
事務局	1便あたり5、6人ほどの利用があります。運賃収入が経費の2割以上であるを目指していただく中、5～6人の利用で収支の均衡が取れると想定されています。 7月は、ほぼ2割を達成する利用状況でした。地域の目標としては2人の利用で、足りない分は住民自治協議会や地域が負担する予定です。
部委員	出だしとしては、まずまずといった状況か。
事務局	そうです。
部委員	皆、注目していると思う。
事務局	今回まわらせていただく中、よく話が出ます。地域によっていろいろな課題があります。買い物に行く交通機関がなかったり、通院であったり、地域の課題に合わせていただくのも可能でございますので、概要等説明させていただくので、遠慮なくおっしゃっていただけたらと思います。

(以上)